

永久保存別冊付録

首や足を温めるだけで耳鳴り、  
ガン、座骨神経痛、疲れ目、アトピーに効く

# 温熱療法の奇跡



3大プレゼント付き

**[安心]**  
2003年2月号  
別冊付録

頭、背骨を温める

# 腰が曲がり歩くのも困難な 座骨神経痛がビワの葉温圧で 完治しいまは普通に歩ける

三砂堂漢方鍼灸院院長  
みすまのり  
三砂雅則

治療の問い合わせ 072(2335)8282 (大阪府堺市)



温圧器はエキスをに入れて使う

## 血流を改善して 痛みを取り除く

種田<sup>たねだ</sup>フヂさん（七十四歳）は、十代のころに左足首をねんざし、きちんと治療を受けないまま何十年と過ごしてきました。ねんざは軽い症状に見えますが、ほうつておくと関節が不安定になり、歩行姿勢の乱れから、腰痛を引き起こ

すことがあります。

種田さんも例にもれず、加齢とともに腰痛を訴えるようになり、五十歳になったころ、整形外科で座骨神経痛と診断されました。

当院へ来られた平成十四年九月の時点では、左右ともに腰からお尻、足の裏へとのびる座骨神経に沿って激しい痛みが生じ、歩くのも困難で、前かがみになって腰を押さえながら歩いていました。

本人が感じる痛みの強さを〇〜五までの六段階で数値化してもらったところ、安静時では二の「軽度」、歩行時は四の「強度」とのことでした。

皮膚をさわると、座骨神経に沿って痛みとともに硬結（筋肉が硬くなっていること）が見られ、瘀

血が生じていることがハッキリとわかりました。

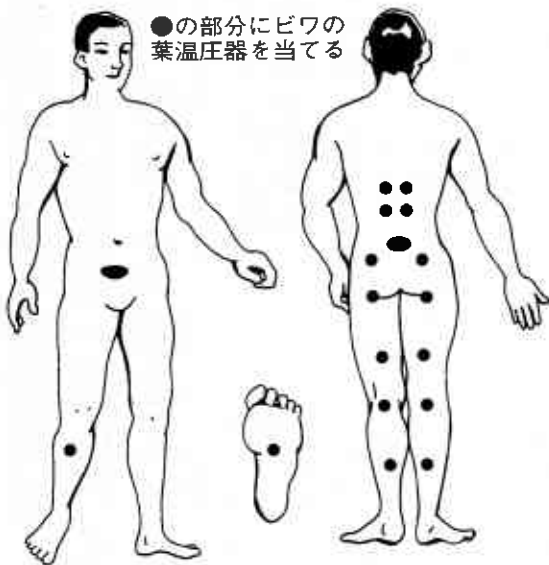
瘀血とは、体の部分部分で血が停滞し、うっ血が起こっている状態のことで、東洋医学では重要な概念です。瘀血は、最も代表的な痛みの原因とされています。

そこで、当院で週二回、ビワの葉温圧器（医療用具）による治療を行いました。すると、腰の痛みは翌週には四から〇まで改善しました。痛みの激しかった右足の痛みも徐々に改善されてきて、一カ月半後には四から〇へと完治したのです。いまではすっかり、普通に歩けるようになりました。

ビワの葉温圧というのは、奈良時代から伝わるビワの葉を使った療法の一つです。古来では、いろりの火でビワの葉をあぶり、手ですり合わせてから、皮膚に直接当てて押しもむという方法でした。

その後、ビワの葉温圧は、生のビワの葉の上に棒モグサを乗せた方法で行われるようになり、当院

## 坐骨神経痛のポイント



●の部分にビワの葉温圧器を当てる

でも一一年前からこの方法を用いてきました。

そして現在では、電気による「ビワの葉温圧器」が開発され、煙も出ない、より安全で、家庭でも手軽にできる民間療法へと進化を遂げています。

ビワの葉温圧器は、器具にビワの葉のエキスをしみ込ませ、ヒーターで温めて皮膚に押し当てて使

用します。そのため、温熱効果、指圧効果、ビワの葉の薬効、の三重効果がもたらされます。

〔温熱効果〕ヒーターに遠赤外線を使用することで、熱が皮膚の深部まで浸透し、血流を改善する効果が得られます。また、温熱にはビワの葉のエキスを気化して、体に浸透させる働きもあります。

〔指圧効果〕器具を押し当てることでツボが刺激され、内臓機能のバランスを調節し、自然治癒力を高めます。また、皮膚に押し当てる部分がリング状になっているため、皮膚表面を押し上げ、局部的に充血させて血流をよくする吸い玉作用もあります。

〔ビワの葉の薬効〕ビワの葉に含まれる数多くの有効成分の中でも、ビタミンB<sub>2</sub>に分類されるアミグダリンには、抗ガン作用があるといわれています。

私は、これらの三重効果が血流をよくし、瘀血が除かれたため痛みや病巣が改善されたと推測しています。

ビワの葉温圧はとにかく気持ちがよく、痛みが改善されることで内側から元気がわいてくることも、免疫力の向上に大いに役立ちます。

当院では、ほかにも五十肩やひざ痛、糖尿病に伴う多発性神経炎の痛み、ガンによる疼痛などにビワの葉温圧器を使用し、効果をおげています。また、鼻炎などのアレルギー性疾患、アトピー性皮膚炎のかゆみ、口臭などにも成果をあげています。

ビワの葉温圧器は家庭でも気軽に使用できるので、一度試してはいかがでしょうか。